

# 一般社団法人 日本民営鉄道協会 第99回 定時総会を開催

日本民営鉄道協会では、平成27年5月29日（金）に東京都千代田区の経団連会館において第99回定時総会を開催、総会決議を採択するとともに、役員を選出しました。



第99回定時総会では、平成26年度の事業報告及び収支決算、平成27年度の会費について承認した後、総会決議を審議し、採択しました。また、役員を選任では、新会長に根津嘉澄東武鉄道株式会社取締役社長を選任しました。

新役員				決議項目
会長	根津嘉澄	東武鉄道(株)	取締役社長(新任)	<b>1. 国及び地方公共団体に対するお願い</b> (1) 安全・安心対策、利便性・快適性など輸送サービスの向上対策、省力化・低炭素化対策、地方民営鉄道の再生・活性化対策等に係る公的支援の拡充・強化 (2) 観光振興及び2020年オリンピック・パラリンピック東京大会開催に向けた総合的支援  <b>2. 国に対するお願い</b> 民営鉄道の安全で安定的な運行に支障が生じることがないように、安定的かつ低廉な電力供給の確保
副会長	山木利満	小田急電鉄(株)	取締役社長(新任)	
〃	山本亜土	名古屋鉄道(株)	取締役社長(再任)	
〃	加藤好文	京阪電気鉄道(株)	取締役社長(新任)	
〃	大谷隆男	秩父鉄道(株)	取締役社長(新任)	
〃	杉山健博	神戸電鉄(株)	取締役社長(新任)	
〃	佐伯要	伊予鉄道(株)	取締役社長(再任)	
(役職については5月29日現在)				



一般社団法人 日本民営鉄道協会 会長

ね づ よし ずみ  
**根津 嘉澄**

(東武鉄道株式会社 取締役社長)

# 鉄道に期待される 公共的使命の重さを自覚し、 より安全で安心な、 快適で利便性の高い、 民営鉄道を目指す

このたび、日本民営鉄道協会の会長に就任いたしました東武鉄道の根津でございます。これからの二年間、会員各社とともに、民営鉄道事業を取り巻く諸課題に積極的に取り組み、鉄道のもつ公共的な使命を果たすべく協会運営にあたってまいります。

まず、安全の確保は輸送事業者にとって最大の使命と認識しております。協会として、常日頃から、会員各社間で情報の共有を図るとともに、機会あるごとに安全確保に向けた取り組みについて相互に確認し合ってきたところであります。今後とも、各種委員会等における諸活動を通じ、日々の運行の安全はもとより、大規模災害対策や危機管理対応も含め、安全・安心への取り組みを一層強化してまいります。

その上で、快適で利便性の高い輸送サービスを将来にわたって安定的に提供できるよう、会員各社の取り組みを基本としつつも、協会として、利便増進事業やバリアフリー対策、安全対策、地方鉄道活性化対策など各般にわたる施策の推進のため、国等の施策と連携を図り、所要の予算の確保や税制改正要望等に関係方面に働き掛けていくことにより、業界全体の輸送サービスのさらなる改善に取り組んでまいります。

当面の課題として、2020年のオリンピック・パラリンピック東京大会の成功に向けた

取り組みや増大を続けるインバウンドへの対応があげられると思います。

具体的には、大会に向けて、円滑な輸送の確保や多言語対応を進めていくほか、交通系ICカードの利用拡大や無料公衆無線LAN(Wi-Fi)整備の動きに呼応して、訪日外国人にとって安心して快適な鉄道利用環境の整備を図ってまいります。

わが国経済は、安定した政権運営とアベノミクス効果により回復基調が続いており、民営鉄道を巡る輸送動向は、概ね堅調に推移しております。

しかし一方で、人口減少や急速に進む高齢化、過疎化の進行、不透明なエネルギー情勢など業界を取り巻く環境には引き続き厳しいものがあります。

そのような中で、重責を担うことになり、身の引き締まる思いしております。鉄道に期待される公共的使命の重さを自覚し、より安全で安心な、快適で利便性の高い、そして今まで以上に「ひとと環境に優しい」民営鉄道を目指し、会員各社はじめ、関係者の一層のご理解とご協力のもと、さまざまな課題に緊張感とスピード感をもって取り組んでまいります。

皆様方には、私どものこのような取り組みに対し、引き続きこれまでと変わらぬご理解、ご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。就任のご挨拶とさせていただきます。

(定時総会後の記者会見より)